

C'n
SCENE

Chiba City Museum of Art,

News

vol. ②

千葉市美術館ニュース

天空の秘宝 チベット密教美術

十一面千手觀音

西チベット、グゲ地方

15世紀後半～16世紀前半

錦布着色

96.5×72.4cm

個人蔵

展

慈悲の菩薩、觀音を描いたこの作品は、あらゆるチベット美術の中でも、最も美しい絵画のひとつとして知られている。

それは、最高に強力な王者の形として、十一面、千眼、千手を備えた、想像できないほどの深い慈悲の権化としてあらわされている。

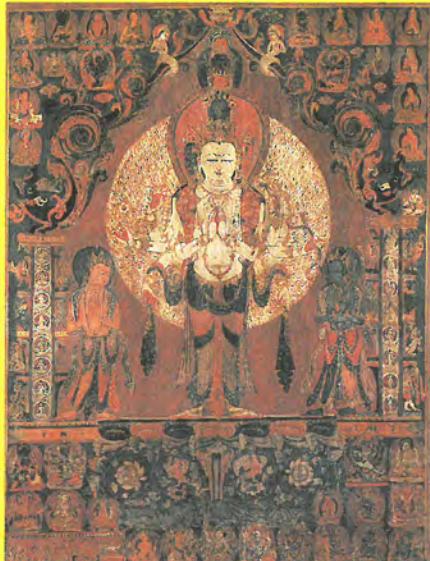
チベットの礼拝者は共通して次の言葉でこの尊像に挨拶する。

“聖なる觀音様、
貴方は千の世界の千の手を持ち、
この善が悠久に続く千の仏陀の世界の千の眼をお持ちです。
そして、貴方が現れた所では、
すべてのものが従います。”

部分図



全体図



チベット密教美術の魅惑

千葉市美術館
館長 辻 惟雄

当館では いま「チベット密教美術展」(8月31日まで)の最中です。アメリカのチベット密教学・密教美術学の権威として著名なロバート・サーマン教授とマリリン・リー教授が中心となり、欧米の密教美術コレクションのなかから、タンカ(軸装画)、金銅仏の最良のできばえのものを選んで日本で公開されました。チベットや密教に関心を持つ方々にはまたとない機会でしょう。

密教とは何か? それはインドの仏教が土着のヒンドゥー教と交わって生まれた特異な宗教世界です。仏教本来の諸像像に、ヒンドゥー教の異形の神々、さらにそれらの変化神を加えて、絵や彫刻にあらわし壇上に飾りつけたものをマンダラといいますが、ヨガ(実践法)の行者はその前で手に印を結び、口に真言(呪文)をとなえ、護摩(悪を滅ぼすための火)を焚き、祭られた本尊の姿を心に思い浮かべ、ついには修行者と仏とが一体になる神秘な体験を求めます。

密教の発生は 4世紀にさかのぼりますが、7世紀に「大日經」「金剛頂經」という二つの重要な經典を得て体系化されました。この中期密教が唐に伝播し、訪れた空海によって日本にもたらされたのが9世紀初めです。さらに8世紀から9世紀にかけて後期密教がネパールとチベットに伝えられましたが、本家インドの密教は、12世紀から13世紀初にかけてイスラム軍に破壊され尽し、また中国の密教も宋代以後は道教に対抗できず途絶えました。

それゆえ現在では、密教はチベット・ネパールと日本にしか残っていないのですが、とりわけチベットでは、ラマ教ともいわれるよう、ラマ(師僧)に絶対的な信仰を寄せ、ダライ・ラマを観音の化身とあがめる敬虔な信仰が今日まで続いている。

チベットの密教は、失われたインドの後期密教の系譜を受け継いで、それをさらに土着化したものです。それゆえその美術の様式は複雑で多様です。たとえばポスターになった「綠力ディラヴァーニー・ターラー」の像(目録番号19)では、洗練された美意識と豊かな色彩感覚とがあいまって、女性神ターラーにこの上ない魅惑とやさしさを与えています。

一方、頭に觸體の飾りをつけた忿怒尊を描くものになると、画面には対照的におどろおどろしい妖気がたちこめます。全身真黒で肥満した「大黒天」、青色で多面多臂の男神

と赤色の女神とが燃え盛る炎の中で激しく交合する「父母仏」(目録番号79、80)はその最たるものです。「性」を「聖」へと転化させるヨガのためのイメージ喚起材、などと説明されてもよくはわかりませんが、人間の心の働き、心理と生理とを無意識の領域まで掘り下げれば、このように異様な世界が見えてくるのでしょうか。ともかくも物凄いエネルギーの凝縮された表現で、見ているとだんだんハマッテきそうです。

チベットは 平均海拔4,800メートルの乾燥した高地で、山はけわしく空はあくまで青く、その空はタンカの背景にもしばしば覗いています。一度チベットへ行ってこの濃紺の空を仰ぎ、今なお密教とともに生きる人々の信仰の心にふれて見たいものです。



部分図 ▲

パラマスッカ・
チャクラサンヴァラ父母仏
(多面相)

チベット中央部、おそらくツァン地方
15世紀後期～16世紀前期
綿布着色
61×45.8cm
個人蔵

天空の秘宝 チベット密教美術展

チベット美術の精華

「世界の屋根」「世界の秘境」と呼ばれるチベット。ほとんどを標高4,800メートル以上の高地で占められ、雪に抱かれた世界は厳しくも豊かな自然環境にあります。現在では多くの観光客がこの土地を訪れていますが、長い間、どの国からも容易にチベットに達することができなかつた地理的条件と独自の鎖国政策によって、神秘のベールにつつまれていました。

17世紀にイエズス会の宣教師たちが訪れたことが西欧世界とチベットの出会いのはじまりです。その後、首都サラに5年間滞在した宣教師をはじめ、数人しかこの土地を目撃することができませんでした。

19世紀に入ってから中国・清朝によるチベット進駐は入国を一層厳しいものとしましたが、清朝の衰えと共に再びこの地を探検家たちが訪れるようになります。なかでも、日本の僧侶・河口晉海とスウェーデンの探検家・ヘディンによる報告は世界に驚きをもって迎えられたのです。特に河口はチベット・インド・ネパール3国に前後通算17年間滞在した折に、



金剛薩埵

西チベットまたはチベット中央部
11~12世紀
青銅；銅・銀象嵌、金泥、彩色
高73.0cm
A&J・スピールマン

この尊像は初期の作例に
共通して見られる立ち姿をしている。
右手は金剛杵を持ち左手は金剛鈴を持つ。
衣裳や宝飾は思のほか豪華であり。
この磨刻を盡かなものにしている。

首都サラで生活し、彼が入手する事を念願としていた大乗仏教の原型を伝えるとされるチベット語一切藏経をダライ・ラマより下賜されたことをはじめ、宗教学・民族学・生物学上貴重な成果をおさめています。

秘境であるがゆえに仏教本来の姿が遺されている、という河口の素朴な考えはその後の研究によって現在では誤ったものとされています。チベットでは、7世紀にインドから仏教が伝えられると、他のアジアの仏教とは趣を異にした独自の宗教觀・世界觀が育まれる

ようになり、仏教美術も「神聖な美術」と呼ばれる高度に洗練された芸術が確立されていたのです。

釈迦牟尼仏陀
西チベットまたはチベット中央部
11世紀中期~12世紀
真鍮；螺髪部に青い顔料が残る、遺骨封入
高40.6cm
ツインマーマン・ファミリー・コレクション

本像は、力強さと優雅な気品を備えた傑作で、我々の歴史上の仏陀をあらわした、数少ない早期のチベット彫刻の素晴らしい作例である。

しかし、河口やヘディンたちによってチベットが世界に知られるようになった今世紀は同時にこの地にとって悲劇の世紀となりました。相繼ぐ戦乱によって寺院や芸術作品は破壊され、残った美術品のほとんどは本国から世界中に散逸し、体系的にチベット美術の逸品をみるとほとんど不可能と言われるまでになってしまつたのです。

今回の展覧会は、チベット美術が最も成熟した9世紀から19世紀までの名品を世界中から集めて実現したものです。エルミタージュ美術館（ロシア）、



次のページに続く

 前ページの続き

ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館（イギリス）、ロサンゼルス・カウンティ美術館、サンフランシスコ・アジア美術館（アメリカ）、ストックホルム国立民族学博物館（スウェーデン）など、世界的主要美術館・博物館や個人の所蔵家から180点あまりの出品を受け、最新の学術調査をふまえて一堂に会する展示はまさに壯觀であり、近年活発な国際巡回展としても屈指の内容と規模を誇っています。

なお、本展は1991年から翌年にかけて、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロンドンで公開され一大チベットブームを巻き起こした展覧会「智慧と慈悲—チベットの神聖な美術」をもとに同じスタッフの監修を得て、さらに内容を充実させたものです。昨年5月にドイツのポンではじまり、11月からのスペインのバルセロナ展を経て、もうひとつの密教の国、日本に巡回してきました。千葉市美術館での開催は、この大規模な国際展の最後をしめくくるものです。

学芸員 薬科英也



このタンカは、最も素晴らしいサキヤ派の伝統のうちでも希有で素晴らしい作品であり、この時期のツアンの重要な壁画の伝統を反映している。

金剛手

チベット中央部、おそらくツアン地方

14世紀後半～15世紀前期

錦布着色

84×76.2cm

マイケル・マコーミック・コレクション

学芸員が行く！～モスクワ編 後～

親しみを感じる 中央アジア・コーカサスの美術

6月のモスクワには日本と同じように梅雨があり、モスクヴィッチ（モスクワっ子）の手には傘が欠かせません。それでもこの短い夏を楽しもうという人々で、街は夜遅くまで（とい

① っても夜11時
ウズベキスタンのイカット
頃まで十分明るい時期なのですが
活気に満ちています。

そんなモスクワでの今回の仕事は、「国立モスクワ東洋美術館所蔵 中央ア

ジアとコーカサスの美術展」の図録作成のため、出品作品の写真撮影を行うことになりました。モスクワでは高価なカメラ機材を揃え、腕の

よいカメラマンを拘束することが困難であることから、モスクワ側からの要請もあり、日本のカメラマンを同行、機材も日本からの持ち込みとなりました。

300点ほども出品作品がある上に、4メートルの長さに及ぶ絨毯から手のひらにのるような装身具まで作品の形態も様々で、短い滞在ではかなり厳しい仕事が予想されたのですが、普段のんびりとした雰囲気の

モスクワのスタッフも我々の殺氣を感じてか日本流のペースにのってよく協力して下さり、何とか予定どおり帰国できる見通しとなりました。

私にとっては、あわただしい中でも出品作品を通観することで、そのすぐれて力強い造形感覚をあらためて実感するよい機会となりました。これまでも、またおそらくこれからも、他

国からの政治的文化的圧力を受けざるを得ない地域に位置しながら、民族が現在まで伝統の美術工芸を尊守してきた状況は、驚くべきことでしょう。ここにはごく原初的で純粋なアジアの美意識が息づいているような気がします。

日本美術が中国や韓国

美術と比較されることはもちろん妥当ですが、その根底にもっと広い視点をもってもよいのかもしれません。



文化は守られながらも勢いをもって流れていました。中央アジア・コーカサスの美術に、日本人にも親しいデザインや形態、技法を見出すごができるのは偶然ではないの

でしょう。これらの作品を日本で公開した時に皆さまからどんな反応がいただけるのか今から楽しみです。

学芸員 田辺昌子

「友の会」入会のご案内

千葉市美術館は開館以来、より身近な美術館づくりを目指しております。

千葉市美術館「友の会」は、美術を愛する人々にさらに親しまれる美術館づくりを進めるために誕生しました。

皆様のご入会をお待ちしております。

会員の特典は

無料サービス

- 千葉市及び（財）千葉市美術振興財団が主催する企画展や常設展が無料で何回も観覧できます。

割引サービス

- 千葉市及び（財）千葉市美術振興財団が主催する展覧会図録が割引（販売価格の10%引き）で購入できます。
- 千葉市及び（財）千葉市美術振興財団が主催する企画展や常設展の観覧料が同伴者も割引（3名まで団体料金）になります。

情報サービス

- 千葉市及び（財）千葉市美術振興財団が主催する講演会等の美術館情報をお届けします。

会員の資格は

- 会員期間は、入会日から1年間です（美術館パスポートの発行をもって、会費納入の領収書とさせていただきます。）
- 学生会員の方は、学生証をご提示（コピーも可）ください。
- 途中で退会されても、会費の払い戻しはいたしません。
- パスポート紛失等により再発行を受ける場合は、手数料が必要となります。

会費の額は

入会金

| | |
|------------------------|--------|
| 一般会員 | 1,000円 |
| 学生会員（高・専・大） | 500円 |
| ファミリー会員（大人2名と中学生以下の家族） | 2,000円 |

年会費

| | |
|------------------------|---------|
| 一般会員 | 年3,000円 |
| 学生会員（高・専・大） | 年1,500円 |
| ファミリー会員（大人2名と中学生以下の家族） | 年6,000円 |

入会の申込み方法は

- 美術館受付に備えている「入会申込書」を利用し、お申込みください。
- 休館日（臨時含む）や年末年始は、お申込みできません。
- 詳細は、千葉市美術館 TEL.043-221-2311までお問い合わせください。

市民ギャラリー利用のご案内

9階 市民ギャラリー

利用時間 10:00～18:00

（金曜日のみ 20:00まで）

休館日 月曜日及び年末年始



※現在、来年度(1998年)の4月から9月までの利用を受け付けております。
○詳しくは美術館までお問い合わせください。

9階の市民ギャラリーは、市内で活動する美術団体の方々に作品を発表していただくスペースです。

ギャラリー1・2・3の三室に分かれ、それぞれが絵画をはじめとして、彫刻や工芸、写真など多様な展示に対応します。また三室を合わせ、ひとつの大きな空間として利用することも可能です。

ミュージアムショップの案内

1階 ミュージアムショップ

営業時間 10:00～18:00

（金曜日のみ 20:00まで）

定休日 月曜日及び美術館休館日



資料・思い出や記念にご利用ください。
展示会カタログ、美術図書、ミュージアムグッズがお求めになれます。

これからのおすすめ企画展スケジュール

休館日=月曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間=午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）毎週金曜日は午後8時まで（入場は午後7時30分まで）

ハローダイヤル=043-227-8600

7月1日火 ▶ 8月31日日

チベット密教美術展

アジアの仏教美術の中でも独自の位置を占めるチベットの密教美術を紹介する国際巡回展

天空の秘宝

*Wisdom and Compassion:
The Sacred Art of Tibet*

山本耀
漁夫
1904年



近代の日本版画のあゆみを多角的な視点から検証するシリーズ企画

9月9日火 ▶ 10月12日日

日本の版画I・ 1900～1910・ 版のかたち百相



関係－河口龍夫

9月9日火 ▶ 10月19日日

現代美術の領域で活躍する作家の
70年代初期の代表作と近作による個展

河口龍夫
関係－熱
1970年

10月21日火
▼
11月24日月

江戸の摺物 人達の贈り物

江戸文化の
粹を集めた版画芸術

秋季特別展

魚屋北溪
桃太郎
1826年



魚屋北溪
金太郎と猪
1826年

○上記展覧会の他に、所蔵作品による常設展示を随時開催します。また、展覧会の日程・名称は変更される場合があります。

なお、企画展の入場料は展覧会ごとに異なります。詳しくは美術館までお問い合わせください。

美術館の所蔵作品より



浮世絵版画の中で、注文制作による非売品のものを摺物という。摺物は、通常の売品に似てないものが尊ばれたようで、テーマや大きさ、摺り方に至るまで、異なった価値観が支配する世界であった。

「馬尽」は、四方側という狂歌師グループが文政五年に作った三十図のシリーズである。シリーズ名は午年に因んでいる。「轡町」は、遊女屋を轡屋ともいうことから遊郭を指す。描かれているのは、江戸吉原のガイドブックである「吉原細見」と、「名古屋山三郎絵巻」の冒頭部分、遊郭を訪れるシーンである。豊かな教養に裏づけられた織細かつ贅沢な美しさが摺物の魅力である。平成の世への江戸の粋人たちの贈り物といってよい。

学芸員係長 浅野秀剛



美術館ご利用あんない

- さや堂ホール (1-2階) Saya-Dou Hall**
昭和初期に建設された、市内に残る数少ない貴重な建物
(ネオ・ルネサンス様式) を新しい建物で包み込み、復元・保存したものです。
- First Floor Museum Shop
- I階**
- ミュージアム・ショップ**
展覧会カタログ・美術図書、ミュージアムグッズがお求めになります。
- 7th Floor Hi-Vision Corner
- 7階**
- 映像コーナー**
ハイビジョンによる作品鑑賞、所蔵作品の検索ができます。
- 10th Floor Library
- 10階**
- 図書室**
室内の美術図書はご自由にご覧になります。
- 11th Floor Restaurant
- 11階**
- レストラン**
お食事・喫茶にご利用下さい。

JR 東日本千葉駅利用

- 東口より徒歩 15 分
- 京成バス大学病院行（のりば⑦）「大和橋」下車徒歩 2 分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸（のりば⑦）
「広小路」下車徒歩 1 分
- 無料巡回シャトルバス・チーバス（のりば⑨）
「中央区役所・美術館前」下車
11:00～18:00 の毎時 05 分と 35 分に発車（水曜日運休）

京成電鉄千葉中央駅利用

- 東口より徒歩約 10 分

